

名古屋市美術館

ICT を活用した鑑賞学習実践例

〔活動1〕3つのけしきをくらべてみよう

対象学年の目安 小学1年生

所要時間 45分(1時限完了)

準備するもの 学習用端末(教員、児童数)、プロジェクター、投影用スクリーン
(教員用端末の画面を投影)

*学習支援ソフトはロイロノートを使用

授業の目標

- ①同じ題材(風景)を比較して見ることで、さまざまな描き方があることを知る。
- ②友達の意見を聞くことで、自分の考え方、見方が変わったり、深まったりする経験をする。
- ③作品の細部まで観察することで、絵を鑑賞する楽しさを味わう。

学習の過程

	学習活動	留意点
5分	<p>〔導入〕</p> <p>名古屋市美術館の作品を鑑賞しよう</p> <p>(1)今日は美術館にある作品の画像を使って、学習用端末で作品鑑賞することを知らせる</p>	<p>(1)ロイロノートをスクリーンに映して全員がよく見えるようにする(全員の意識をスクリーンに集中させるため、最初は個々の端末はロックする。以後、活動に応じて解除/再ロックする)</p> <p>(1)美術館のことを知っているか、行ったことがあるかなどを質問する</p> <p>(1)名古屋市美術館の公式サイトを見せながら、どういう場所か、どんな作品が見られるかを紹介する</p>
35分	<p>〔活動1〕</p> <p>3つの景色を比べて見よう</p> <p>(1)各自の端末で、山元春挙《観瀑図》を拡大するなどして自由に見る</p> <p>(2)何が描かれているか(モチーフ)を挙手で発言する</p> <p>(3)各自の端末で、鬼頭壘二郎《風景》を拡大するなどして自由に見る</p> <p>(4)1点目と同じように、何が描かれているのかを挙手で発言する</p> <p>(5)1点目の作品と比べて、描き方がどんなふうに異なるかを考える。気づいたことがあれば、挙手で発言する</p> <p>(6)各自の端末で、ハイム・スーチ</p>	<p>(1)1~2分間、おしゃべり無しで集中して見るよう促す</p> <p>(2)一見しただけでは気づかないような細部に気づいた発言があれば、教員用の画像を拡大してスクリーンに映し、クラス全体で確認する</p> <p>(3)1点目と違って、一つ一つのモチーフが明確な輪郭をもって描かれていないので、描かれているものについて異なる意見が出たら、「どうしてそう思ったのか」を質問する</p> <p>(3)1点目と比べて、描き方がどんなふうに違うかを質問する</p> <p>(7)2点目よりもさらに画面が混沌としている</p>

5分	<p>ン《セレの風景》を拡大するなどして自由に見る</p> <p>(7) 何がどんなふう描かれているのかを挙手で発言する</p> <p>(8) 1点目、2点目の作品と比べて、描き方がどんなふう異なるかを考える。気づいたことがあれば、挙手で発言する</p> <p>(9) 3点のうち、自分はどの風景が好きだったかを挙手する</p> <p>(10) なぜ、その風景が好きだと感じたのか、言葉にして発表する（各作品につき、2～3名）</p>	<p>ので、先に出た意見とは違う見方をした児童がいないか、声をかける</p> <p>(8) 作者の筆あとが大胆に残されていることなどに注目し、1点目、2点目との印象の違いについて質問する</p> <p>(9) 3点のうち、もっとも気に入った作品を選ばせ、作品ごとに挙手させる</p> <p>(9) 風景の描き方はさまざまであり、同じ作品を見ても、多様な感想があることをクラス全体で共有できるようまとめる</p>
----	---	---

内容のアレンジ

小学1年生は、文字の読み書きに不慣れなため、ワークシートや黒板への板書は行わず、挙手による発言のみの活動とした。1年生でも、年度の後半に授業を行う場合や、小学2年生で同様の授業をする場合は、児童の発言を書き起こして画面や黒板で共有すると効果的と思われる。

本授業で使用した3点の作品は、写実度、抽象度の違いから選んでいる。比較的写実的で細密な描写がなされている《観瀑図》、やや抽象化されているが、描かれているモチーフは理解できる程度の《風景》、高度に抽象化、様式化された描写の《セレの風景》を比較することで、絵画には多様な表現の仕方があることを知るきっかけとしたい。同様の切り口で、人物画や静物画を選ぶこともできるだろう。

使用画像

- ①山元春挙《観瀑図》1910-20年 https://jmapps.ne.jp/ncam2/det.html?data_id=111
- ②鬼頭壘二郎《風景》1925年 https://jmapps.ne.jp/ncam2/det.html?data_id=374
- ③ハイム・スーチン《セレの風景》1922年頃
https://jmapps.ne.jp/ncam2/det.html?data_id=287

児童のコメント例

《観瀑図》を鑑賞して

- ・木がある
- ・カエルがいる
- ・カエルじゃなくて犬かもしれない
- ・雲の上に崖がある

《風景》を鑑賞して

- ・葉っぱがいっぱい
- ・トンネルがある
- ・人みたいなのがいて、何か持っている
- ・持っているのは小麦の束かな？
- ・家がある
- ・季節は夏みたい。虫がいそう
- ・木の中に鳥みたいなのがいた

《セレの風景》を鑑賞して

- ・ マンションみたいなものがある
- ・ 山みたいな形がある
- ・ 緑色のかたまり
- ・ 中央に鳥がいる。カラフル

(10) の意見例

《観瀑図》が好き：暗い感じが好き/下の方が細かくて描かれていてきれい

《風景》が好き：夏みたいで明るいから好き

《セレの風景》が好き：マングローブの根っこみたいでかっこいい